

## 前回勉強会での意見

※前回勉強会での意見を、防災行動と懸念事項として取りまとめました。

今後、防災行動をさらに洗い出しながら、これらの払拭を払拭・軽減する方向でタイムラインの作成を検討します

区分	防災行動	懸念事項	懸念の内容
情報	情報を発信する	予測困難	発信した気象情報が正しいか（当たるかどうか）
			水位上昇は急激！かつ予想が難しい
	情報を伝達する	通信手段の問題	予測の変化
			シナリオの変化
			浸水シミュレーション堤防の決壊の予測
		正確・確実な情報伝達	通信手段 電話・無線足りるか？
			情報伝達系統に不安
			避難勧告での緊急速報メールの活用→住民への周知
			非常時の連絡通信方法（手段）
	迅速な情報伝達	気象情報の内容が伝わらなかった	
		情報正しく伝わるか	
		本庁（本部）で被害状況を電話で受けるが、内容が理解しにくい。現場の把握が出来ない	
	他機関との連携	道路規制の情報発信	
		スムーズな伝達が課題	
	住民への周知	防災・気象シナリオの急変時に解説のむずかしさ	
		報道機関との連携	
	情報を収集する	情報の不足	気象台 河川管理者 適切な技術的助言がほしい。
			日頃からの住民への周知
			住民への情報が十分なのか（リアルタイム情報提供）（今、どこが危険なのか）
		情報が遅い	玉野営業所（両備）・車、バスが水没した ・人+物を避難させる ・情報不足が不安
被害状況 情報収集（判断）			
N T T設備の被害状況把握ができるか			
情報収集手段		現地の様子がわからない中での相談	
		現地情報は大丈夫か？	
他機関との連携		情報がリアルタイムに入っていない	
		正確な災害情報をタイムラグなしで受け取れるか	
	地域的な情報を知りたい 洪水のくる時間等が早く知りたい 浸水状況		
	現場の状況がなかなか上がってこない。		
情報過多で選択困難	災害情報を簡単に得る方法は？		
	他の防災機関との情報収集がうまくいかない		
	迅速な情報共有		
意思決定・判断	行動の意思決定をする	鬼怒川のような状況で適切な対応が岡山県でできるか 連携、関係機関	
		浸水の範囲の予（？）測との情報共有、連携が重要	
		収集した情報がたくさんありすぎて、対応に困った	
		情報が大量に入るが必要な物の選択が難しい。	
		情報整理 どれが優先順位高いか。	
		報道のため ・情報整理	
人員・資機材	防災行動を実施する	関係機関との調整	
		各機関との調整	
		一斉に相談が来た時の対応	
		経験不足	
		過去にない災害に対して具体的な対応策がない	
		効率的な動員	
		消防団員4600人を効率的に使うには？（統率など）	
		受援方法	
		災害発生時の本社応援要請のルール化、連携	
		避難判断の不安	
		避難判断の基準	
		災害の判断のタイミング 救助法の場合	
人材確保	危険箇所の判断に不安		
	危険箇所の内、実際にどこが危険か判断するのは難しい		
	排水機場の操作で河川の氾濫を防ぐため操作を止める判断をしなければならないケースがある		
	人員不足 時間がかかる情報発信		
浸水時の動員	人員の確保		
	調査する人員が確保できるか		
	要員不足で組織が動くか？		
	人手が足りない		
	人数が足りなくなって、かわりの人にやってもらったが、スグには出来なかった。		
	想像以上に被害が大きくなり、途中から人手が足りなくなった。（間に合わなかった）		
	復興のための人員配置		
	排水作業員が早く集まるか？		
	人員不足 代替要員がいない		
	災害時の人的動員をどうするか イオン→駅→ドレミの街までの地下に40カ所 止水板		
職場への出勤経路について			
無事いけるのか？人手不足			
水没のため復旧現場まで行けない。			
車庫が浸水エリア			
会社に出社できるか？（県も）			
帰宅時に発生したら出社が困難			
経験不足	災害の経験がない。		
	防災担当の任期が短い（異動のローテーションが早い）		
	人員（物資）を（の？）調達方法を熟知していない。		
資機材確保の不足	経験不足（個人的）		
	水害の経験がない 正しい行動が取れるか		
	作業員さんの食事は大丈夫か？		
電話対応を行う	現場で燃料をつける所有るか？		
	復旧用物資が十分あるか？		
電話対応に人手がとられる	災害対策本部につめた際、電話対応が多岐にわたり、対応に困ることがある。		
	過去、対策本部でつめていたが、telが多い。人が足りなく、要望にも対応しきれない。		

区分	防災行動	懸念事項	懸念の内容
不測のトラブル	機材を運転する	トラブルへの対応	ポンプ・機器等のトラブル時対応
			長期停電した場合の対応
			排水Pと排水機の仕切 ・施設更新困難 ・高齢化 地中化された電線・ケーブル
避難	避難誘導する	避難方法・避難先がわからない	避難場所がどこどこなのかわからない。小学校、役所が近くにない場合は？
			行政対策 避難の考え方（周知）2階以上高いところへ 河川近くの方の避難
			水害など避難マニュアルがない
			情報収集方法の周知（住民が知っているか）
		多様な人々を避難させる	お客様・従業員に意識の差 スムーズに誘導できるか
			老人に対する避難誘導 住民の防災意識が低い
			避難に応じて預けるか？（必要性が曖昧な場合）
		避難情報の適切さ	行政対策 勧告の空振り→避難してもらえなくなる
			避難勧告が適正に発令されるか 氾濫危険水位
			避難勧告が適切に出されているか 市民の方への情報発信のタイミング
			避難準備 情報を早めに出してほしい
		職員の安全確保	職員の避難
堤防が決壊しそうなときに職員の安全をどう確保するか			
自分自身の危険			
水害のリスク	水害への対応を担う	水害特性そのものへの不安	（岡山市南区）地理的に災害に弱い ・児島湾、川、海 ・低海拔 ・干拓地 地下施設への浸水 旭川と西川の関係（水害特性）
			地下街浸水の不安
		広域災害への対応	地下街なのでいかに早く対応するか 周知の方法をどうするか 地下街は時間50mm以上は対応も必要 地下街への水流入
			広域災害の場合何ができるか
交通インフラ	交通の安全を確保する	運行停止のタイミング判断	バス・電車運行を止めるタイミング判断 通行止にするかどうかの判断が難しい（通行止は社会的影響が大きい） 道路規制のタイミング 列車の運転取り止めのタイミング
			安全運行の判断
			帰宅困難者対策
		帰宅困難者対策	浸水深によってバスの運行が出来るかどうか？ 現地までの移動 道路冠水 橋の状況 帰宅困難者の予測
対応全般	防災行動全般	手順への不安	マニュアルは厚いが頭に入っていない
			手順どおりできるか
			事後対策でなく事前対応できるものが必要 地理（地名）の把握が出来ていない